受検番号	氏名

2 前建一

令和６年度（前期）

２級建築施工管理技術検定

第一次検定問題

令和６年６月９日(日)

〔注　意　事　項〕

1．ページ数は，表紙を入れて **24** ページです。

2．試験時間は，**10 時 15 分から 12 時 45 分**です。

3．問題の解答の仕方は，次によってください。

イ．〔No.　1〕から〔No.　4〕までの **4 問題**は，**全問題を解答**してください。

ロ．〔No.　5〕から〔No.　14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。

ハ．〔No.　15〕から〔No.　17〕までの **3 問題**は，**全問題を解答**してください。

ニ．〔No.　18〕から〔No.　27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。

ホ．〔No.　28〕から〔No.　37〕までの **10 問題**は，**全問題を解答**してください。

ヘ．〔No.　38〕から〔No.　42〕までの **5 問題**は，**全問題を解答**してください。

ト．〔No.　43〕から〔No.　50〕までの **8 問題**のうちから，**6 問題を選択し，解答**してください。

4．選択問題は，解答数が**指定数を超えた場合，減点となります**から注意してください。

5．問題番号〔No.　1〕から〔No.　37〕，〔No.　43〕から〔No.　50〕は，**四肢択一式**です。
正解と思う肢の番号を**1 つ**選んでください。

6．問題番号〔No.　38〕から〔No.　42〕は，施工管理法の**能力問題**で**五肢択一式**です。
正解と思う肢の番号を**1 つ**選んでください。

7．解答の記入に当たっては，次によってください。

マークの塗りつぶし例 ●

イ．解答は，選んだ番号を右のマークの塗りつぶし例に従って，〔HB〕の**黒鉛筆**か**黒シャープペンシル**で塗りつぶしてください。ボールペン・サインペン・色鉛筆等では採点されません。

ロ．マークを訂正する場合は，消しゴムできれいに消して訂正してください。

8．解答用紙は，雑書きしたり，汚したり，折り曲げたりしないでください。

9．この問題用紙は，計算等に使用しても差し支えありません。

10．漢字に付した**ふりがな**は補足であり，異なる読み方の場合があります。

11．この問題用紙は，第一次検定の試験終了時刻まで在席した場合に限り，持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は，持ち帰りできません。

※ **問題番号**〔No.　1〕から〔No.　4〕までの**4問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　1〕 日照及び日射に関する記述として，**最も不適当なものは**どれか。

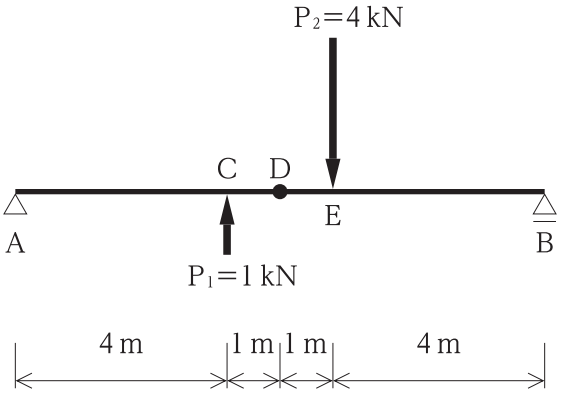
1. 太陽放射の光としての効果を重視したものを日照といい，熱的効果を重視したものを日射という。
2. 日の出から日没までの時間を，日照時間という。
3. 北緯35°付近における終日快晴の夏至の日の終日日射量は，南向きの鉛直面よりも水平面のほうが大きい。
4. 夏至の日に終日日影となる部分は，永久日影となる。

〔No.　2〕 鉄筋コンクリート構造の建築物の構造形式に関する一般的な記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 純ラーメン構造は，柱と梁のみで構成された骨組みで地震力等の水平力に抵抗する構造である。
2. 壁式構造は，壁と床や屋根等を一体としたもので，壁が柱と梁の役割を兼ねる構造である。
3. フラットスラブ構造は，腰壁が梁の役割を兼ねる構造である。
4. プレストレストコンクリート構造は，PC鋼材を用いて梁等のコンクリート部材に圧縮力を導入した構造である。

※ **問題番号**〔No.　1〕から〔No.　4〕までの**4問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　3〕 図に示す単純梁ABの点Cに集中荷重 P_1，点Eに集中荷重 P_2 がそれぞれ作用したとき，点Dに生じるせん断力の値の大きさとして，**正しいもの**はどれか。



1.　0 kN
2.　1 kN
3.　2 kN
4.　3 kN

〔No.　4〕 日本産業規格（JIS）に規定する建具の性能試験における性能項目に関する記述として，**不適当なもの**はどれか。

1.　水密性とは，風雨による建具室内側への水の浸入を防ぐ程度をいう。
2.　防火性とは，火災時の延焼防止の程度をいう。
3.　面内変形追随性とは，地震によって生じる面内変形に追随し得る程度をいう。
4.　耐候性とは，環境の変化に対して形状寸法が変化しない程度をいう。

※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No.　14〕までの**10問題**のうちから，**5問題を選択し，解答**してください。
なお，**5問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　5〕 採光及び照明に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 光束とは，視感度に基づいて測定された単位時間当たりの光のエネルギー量である。
2. 照明の光は加法混色であり，その3原色は赤，緑，青である。
3. 昼光率とは，室内のある点の天空光による照度を，全天空照度で除したものである。
4. 輝度とは，点光源のある方向の光の強さを示す量である。

〔No.　6〕 音に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 材料が同じ単層壁の場合，壁の厚さが厚いほど，一般に音響透過損失は大きくなる。
2. コンサートホールの客席後方部は，エコーを防ぐため，壁や天井に反射板を設置する。
3. 吸音率は，壁面に入射した音のエネルギーに対する吸収及び透過した音のエネルギーの割合である。
4. 合板やせっこうボードと剛壁の間に空気層があるとき，主に低音域の音を吸音する。

〔No.　7〕 木造在来軸組構法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 構造耐力上必要な軸組の長さの算定において，木ずりを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組の軸組長さに乗ずる倍率は1とする。
2. 構造耐力上必要な軸組の長さの算定において，9 cm角の木材の筋かいを片側のみ入れた軸組の軸組長さに乗ずる倍率は3とする。
3. 筋かいの端部は，柱と梁その他の横架材との仕口から離れた位置に，釘等の金物で緊結する。
4. 筋かいをたすき掛けにするためにやむを得ず欠き込む場合，筋かいに必要な補強を行う。

※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No.　14〕までの**10問題**のうちから，**5問題を選択し，解答**してください。
なお，**5問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　8〕 鉄骨構造に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 柱と梁を接合する接合部に設ける通しダイアフラムは，梁のフランジ厚さと同じ板厚のものを用いる。
2. 柱の形式には，形鋼等の単一材をそのまま用いた柱のほか，鋼板を組み合わせた溶接H形断面等の組立て柱がある。
3. 合成梁に用いる頭付きスタッドは，鉄骨梁と鉄筋コンクリート床スラブが一体となるように設ける部材である。
4. フィラープレートは，厚さの異なる板をボルト接合する際に，板厚の差による隙間を少なくするために設ける部材である。

〔No.　9〕 基礎構造に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

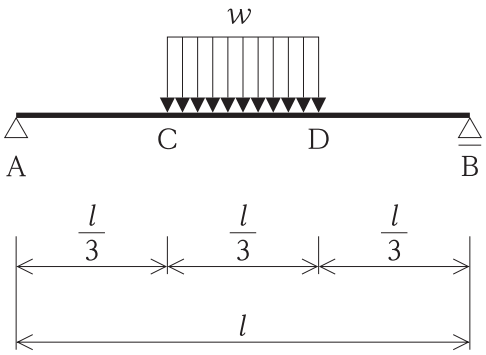
1. べた基礎は，独立基礎にすると底面が著しく広くなる場合等に用いられる。
2. 複合フーチング基礎は，隣接する柱間隔が狭い場合等に用いられる。
3. 独立フーチング基礎は，一般に基礎梁で連結する。
4. 直接基礎の底面は，冬季の地下凍結深度より浅くする。

〔No.　10〕 構造材料の力学的性質に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

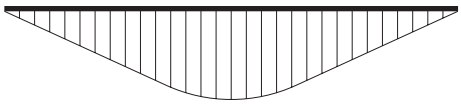
1. 細長い材の材軸方向に圧縮力が生じているとき，その力がある限界を超えると，その材が安定を失って曲がる現象を座屈という。
2. 一定の大きさの持続荷重によって，時間とともにひずみが増大する現象をクリープという。
3. 鋼材が極めて多数回の繰返し荷重を受けることによって生じる破壊を疲労破壊という。
4. 物体に外力を加えて変形した後に，外力を除いても変形が残る性質を弾性という。

※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
なお，**5 問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

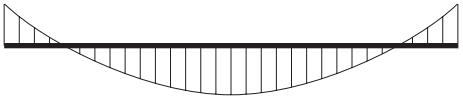
〔No. 11〕 図に示す単純梁 AB の CD 間に等分布荷重 w が作用したときの曲げモーメント図として，**正しいもの**はどれか。
ただし，曲げモーメントは，材の引張側に描くものとする。



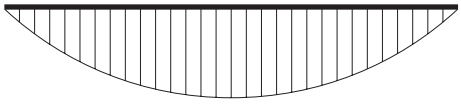
1.



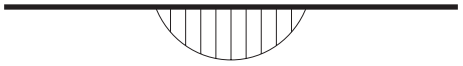
2.



3.



4.



※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
なお，**5 問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 12〕 コンクリートに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. コンクリートの引張強度は，圧縮強度に比べて著しく小さい。
2. 単位水量が多くなると，コンクリートの乾燥収縮が大きくなる。
3. コンクリートは，長時間火熱を受けても圧縮強度は変わらない。
4. コンクリートの線膨張係数は，常温では，鉄筋の線膨張係数とほぼ等しい。

〔No. 13〕 防水材料に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. アスファルトルーフィングは，有機天然繊維を主原料とした原紙にアスファルトを浸透，被覆し，表面側のみに鉱物質粉末を付着させたものである。
2. 砂付あなあきアスファルトルーフィングは，防水層と下地を絶縁させるために用いるものである。
3. 塗膜防水は，ウレタンゴム系，アクリルゴム系，ゴムアスファルト系等の液状の樹脂を塗布，硬化させることで防水層を形成する。
4. 金属系シート防水は，ステンレスシート又はチタンシートを連続溶接することで防水層を形成する。

〔No. 14〕 ウレタン樹脂系塗床材の一般的な特徴に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 弾力性に優れている。
2. 耐摩耗性に優れている。
3. 高湿度下で発泡しやすい。
4. 汚れが付着しにくい。

※ **問題番号**〔No. 15〕から〔No. 17〕までの**3問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 15〕 敷地内の雨水排水工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 硬質ポリ塩化ビニル管の継手は，接着剤を用いて接合した。
2. 硬質ポリ塩化ビニル管をコンクリート桝に接合する部分は，砂付きの桝取付け短管を用いた。
3. 地中埋設排水管の勾配は，$\frac{1}{100}$ 以上とした。
4. 雨水用排水桝の底部には，深さ 10 cm の泥だめを設けた。

〔No. 16〕 防災設備に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 通路誘導灯は，避難口の位置の明示を主な目的とする避難設備である。
2. 劇場の客席に設ける客席誘導灯は，避難上必要な床面照度の確保を主な目的とする避難設備である。
3. 定温式スポット型熱感知器は，火災時の熱により周囲が一定の温度に達することにより作動する。
4. 光電式スポット型煙感知器は，火災時の一局所の煙により光電素子の受光量が変化することにより作動する。

〔No. 17〕 空気調和設備に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. ファンコイルユニットは，熱源機器でつくられた冷水や温水の供給を受け，冷暖房を行う機器である。
2. 全熱交換器は，換気のために排出する室内空気が持つ熱量を回収する装置である。
3. 定風量単一ダクト方式は，一定の風量で送風するシステムで，負荷変動の異なる複数の空間に適している。
4. 各階ユニット方式は，各階ごとに空調機を分散設置して空調を行う方式で，各階ごとの負荷変動に対応できる。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの**10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。
なお，**7問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 18〕 墨出し等に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 通り心の墨打ちができないため，通り心より1m離れたところに設けた逃げ墨を基準墨とした。
2. 建物四隅の基準墨の交点を上階に移す際，2点を下げ振りで移し，他の2点はセオドライトで求めた。
3. 型枠の建込み位置等に付ける子墨は，基準墨から出した。
4. 陸墨を柱主筋に移す作業は，台直し等を終え，柱主筋が安定した後に行った。

〔No. 19〕 既製コンクリート杭のセメントミルク工法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 根固め液は，あらかじめ掘削した孔に杭を挿入した後に注入する。
2. アースオーガーによる掘削は，粘着力の大きな地盤や硬い地盤ほど掘削速度を遅くする。
3. オーガーヘッドは，杭径より大きいものを用いる。
4. 掘削中の孔壁の崩壊を防ぐための掘削液は，一般的にベントナイト泥水を用いる。

〔No. 20〕 異形鉄筋の継手及び定着に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. D13のせん断補強筋の現場溶接は，フレア溶接とした。
2. 接地階となる1階の柱主筋において，柱脚部の継手の位置は，基礎梁上端から柱せい以上離した。
3. 壁の縦筋の配筋間隔が上下階で異なる場合，鉄筋を折り曲げず，あき重ね継手とした。
4. 耐圧スラブが付く基礎梁主筋の継手の位置は，上端筋，下端筋ともスパンの中央部とした。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの**10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。
なお，**7問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 21〕 鉄骨の加工に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. けがき寸法は，製作中に生じる収縮，変形及び仕上げ代を考慮した値とした。
2. 工場製作で使用する鋼製巻尺の精度は，日本産業規格（JIS）に定める1級鋼製巻尺の長さの許容差の $\frac{1}{2}$ 程度とした。
3. 溶融亜鉛めっき高力ボルトの孔径は，同じ呼び径の高力ボルトの孔径よりも大きくした。
4. 400 N/mm^2 級鋼材のひずみの矯正は，850 ℃から900 ℃に局部加熱して行った後に空冷した。

〔No. 22〕 在来軸組構法における木工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 土台を固定するアンカーボルトは，土台の両端部や継手の位置，耐力壁の両端の柱に近接した位置に設置した。
2. せいが異なる胴差の継手は，受材となる柱心より50 mm程度持ち出し，腰掛けかま継ぎとし，ひら金物両面当て釘打ちとした。
3. 隅通し柱の仕口は土台へ扇ほぞ差しとし，ホールダウン金物を用いてボルトで締め付けた。
4. 根太を設けない床組の構造用面材は，その四周囲を床梁及び胴差に20 mm以上乗せて釘打ちとした。

〔No. 23〕 アスファルト防水における屋根保護防水密着工法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 保護コンクリートに設ける伸縮調整目地は，中間部の縦横間隔を3 m程度とした。
2. ルーフィング類は，継目の位置が上下層で同一箇所にならないようにして，水下側から張り付けた。
3. コンクリート立上り部は，打放し仕上げとし，型枠の締付け材にコーンを使用した。
4. 平場部のルーフィングと立上り部のルーフィングとの重ね幅は，100 mmとした。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
なお，**7 問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1 つ**選んでください。

〔No. 24〕 乾式工法による外壁の張り石工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. だぼの取付け穴は，工場で加工した。
2. 石材の有効厚さは，施工性を考慮して 20 mm とした。
3. 石材の大きさは，石材 1 枚の幅及び高さが 1,200 mm 以下，かつ，面積が 0.8 m^2 以下とした。
4. 幅木は，衝撃対策のため，石材と躯体の隙間に裏込めモルタルを充填した。

〔No. 25〕 とい工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 硬質塩化ビニル製縦どいは，継いだ長さが 10 m を超えるため，エキスパンション継手を設けた。
2. 鋼板製丸縦どいの長さ方向の継手は，下の縦どいを上の縦どいの中に差し込んで継いだ。
3. 硬質塩化ビニル製軒どいは，1 本の長さを 10 m 以内とし，伸縮を集水器部分で吸収するようにした。
4. 鋼板製軒どいの両端部分は，丸軒どいは耳巻き，角軒どいは折曲げとした。

〔No. 26〕 建具工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 樹脂製建具は，建具の加工及び組立てからガラスの組込みまでを建具製作所で行った。
2. 木製フラッシュ戸の框材には，錠前当たり補強を設けた。
3. アルミニウム製建具の組立てに使用する小ねじは，亜鉛めっき処理した鋼製のものを使用した。
4. ステンレス製建具のステンレスに接する鋼製の補強材は，錆止め塗装をした。

※ **問題番号**〔No．18〕から〔No．27〕までの**10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。
なお，**7問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．27〕 内部仕上げの改修工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。
ただし，除去する資材は，石綿（アスベスト）を含まないものとする。

1. モルタル下地の磁器質床タイルの張替え部は，斫りのみを用いて，手作業で存置部分と縁切りをした。
2. モルタル下地面に残ったビニル床タイルの接着剤は，ディスクサンダーを用いて除去した。
3. コンクリート壁下地に塗られたモルタルは，一部軽微な浮きが認められたため，アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法で補修した。
4. コンクリート間仕切壁は，振動の発生を抑えるため，空気圧式のハンドブレーカーを用いて斫りを行った。

※　**問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．28〕　事前調査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 山留め工事の計画に当たって，設計時の地盤調査が不十分であったため，ボーリング調査を追加して行うこととした。
2. 鉄骨工事の計画に当たって，製作工場から現場までの搬入経路の調査を行うこととした。
3. 鉄骨の建方の計画に当たって，日影による近隣への影響の調査を行うこととした。
4. 解体工事の計画に当たって，発生する木くずを再生するため，再資源化施設の受入れ状況の調査を行うこととした。

〔No．29〕　仮設計画に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 仮囲いには，合板パネル等の木製材料を使用することとした。
2. 仮囲いに設置する通用口の扉は，内開きとすることとした。
3. 工事ゲートは，トラックアジテータが通行するため，有効高さを3.8ｍとすることとした。
4. 仮囲いを設けなければならなかったため，その高さは周辺の地盤面から1.5ｍとすることとした。

〔No．30〕　工事現場における材料の保管に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. ロール状に巻いたカーペットは，屋内の乾燥した場所に，縦置きにして保管した。
2. 溶剤系のビニル床タイル用接着剤は，換気のよい場所に保管した。
3. ALCパネルは，台木を水平に置いた上に平積みで保管した。
4. 左官用の砂は，周辺地盤より高い場所に，水はけをよくした置場を設置して保管した。

※　**問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．31〕　建築工事の工程計画及び工程管理に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 基本工程表は，工事全体を一つの工程表としてまとめたもので，工事の主要な作業の進捗を表示する。
2. 各作業の実働日数は，作業の総施工数量に1日当たりの施工数量を乗じて求める。
3. 工程計画を立てるに当たり，その地域の雨天日や強風日等を推定して作業不能日を設定する。
4. 暦日とは，実働日数に作業休止日を考慮した日数である。

〔No．32〕　バーチャート工程表の一般的な特徴に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 各工事間の細かい作業工程の関連性が把握しにくい。
2. 工程上で重点管理する必要がある作業が判断しやすい。
3. 複雑な時間計算が不要であるため，作成しやすい。
4. 各作業の開始時期，終了時期及び所要期間が把握しやすい。

〔No．33〕　品質管理の検査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 抜取検査は，ある程度の不良品の混入が許される場合に適用される。
2. 抜取検査は，品物がロットとして検査できない場合に適用される。
3. 全数検査は，不良品を見逃すと後工程に重大な影響を与える場合に適用される。
4. 全数検査は，検査費用に比べて得られる効果が大きい場合に適用される。

〔No．34〕　品質管理のための試験及び検査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鉄筋工事において，ガス圧接部のふくらみの直径の確認は，デジタルノギスを用いて行った。
2. タイル工事において，タイルの浮きの確認は，テストハンマーを用いて行った。
3. 木工事において，造作用木材の含水率の確認は，高周波水分計を用いて行った。
4. 鉄骨工事において，隅肉溶接のサイズの確認は，マイクロメーターを用いて行った。

※　**問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．35〕　コンクリートの試験及び検査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. フレッシュコンクリートの荷卸し地点での検査におけるスランプ試験は，0.5 cm 単位で測定した。
2. フレッシュコンクリートの荷卸し地点での検査における普通コンクリートの空気量の許容差は，± 2.5 % とした。
3. コンクリートの打込み中に品質の変化が認められたため，再度スランプ試験を行った。
4. 試験に用いる試料は，トラックアジテータから採取する直前に，アジテータで高速攪拌した。

〔No．36〕　工事現場の安全管理に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 新規入場者教育とは，新しく現場に入場した者に対して，作業所の方針，安全施工サイクルの具体的な内容，作業手順等を教育することである。
2. KY（危険予知）活動とは，作業に伴う危険性又は有害性に対し，作業グループが正しい行動を互いに確認し合う活動である。
3. TBM（ツール ボックス ミーティング）とは，職長を中心に，作業開始前の短時間で，当日の安全作業について話し合う活動である。
4. OJT（オン ザ ジョブ トレーニング）とは，施工の安全を図るため，毎日，毎週，毎月の基本的な実施事項を定型化し，継続的に実施する活動である。

〔No．37〕　事業者の講ずべき措置として，「労働安全衛生規則」上，**定められていないもの**はどれか。

1. 高さが 2 m 以上の構造の足場の組立て，解体又は変更の作業を行う区域内には，関係労働者以外の労働者の立入りを禁止すること。
2. 高さが 2 m 以上の構造の足場の組立て，解体又は変更の時期，範囲及び順序を当該作業に従事する労働者に周知させること。
3. 型枠支保工の組立て等作業主任者を選任すること。
4. 型枠支保工の組立て等の作業の方法を決定し，作業を直接指揮すること。

※ **問題番号**〔No. 38〕から〔No. 42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 38〕 型枠工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 柱型枠の足元は，型枠の変形防止やセメントペーストの漏出防止等のため，桟木で根巻きを行った。
2. 梁の側型枠の寸法をスラブ下の梁せいとし，取り付く底型枠の寸法を梁幅で加工した。
3. 外周梁の側型枠の上部は，コンクリートの側圧による変形防止のため，スラブ引き金物で固定した。
4. 横に長い窓開口部の下端には，コンクリートの吹出しを防ぐため，両端部に蓋をした。
5. 階段が取り付く壁型枠は，敷き並べた型枠パネル上に現寸で墨出しをしてから加工した。

〔No. 39〕 コンクリートの養生に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 寒中コンクリート工事において，コンクリート温度の低下を防ぐため，加熱養生期間中は湿潤養生を行わないようにする。
2. 寒冷期において，コンクリートの凝結硬化の初期段階で凍結して，硬化しなかったり，所定の強度が得られないことを初期凍害という。
3. コンクリートの湿潤養生期間は，一般に，使用するセメントの種類と計画供用期間の級によって決まる。
4. コンクリート面が露出している部分を水密シートによって被覆することは，初期の湿潤養生として有効である。
5. 強度の発現が損なわれることがあるため，硬化過程にあるコンクリートには振動を与えないようにする。

〔No. 40〕 コンクリート壁下地のセメントモルタル塗りに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 下塗り，中塗り，上塗りの各層の塗厚は，6 mm 程度とした。
2. モルタルの1回の練混ぜ量は，60分以内に使い切れる量とした。
3. 乾燥収縮によるひび割れの防止のため，保水剤を混和剤として使用した。
4. 下塗り後，むらが著しかったため，中塗りの前にむら直しを行った。
5. 上塗りモルタルの調合は，下塗りモルタルよりも富調合とした。

※ **問題番号**〔No．38〕から〔No．42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．41〕 カーペット敷きに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. タイルカーペットは，粘着剥離形の接着剤を用いて張り付けた。
2. グリッパー工法に用いるグリッパーは，壁に密着させて取り付けた。
3. ウィルトンカーペットは，はぎ合わせを手縫いでつづり縫いとした。
4. タフテッドカーペットの敷込みは，全面接着工法とした。
5. タイルカーペットの目地は，フリーアクセスフロアの目地とずらして割り付けた。

〔No．42〕 品質管理に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 品質管理とは，施工計画書に基づいて工事のあらゆる段階で問題点や改善方法等を見出しながら，合理的，かつ，経済的に施工を行うことである。
2. 管理項目とは，目標の達成を管理するために，評価尺度として選定した項目のことである。
3. QCDSとは，計画，実施，点検，処置のサイクルを確実，かつ，継続的に回して，プロセスのレベルアップを図る考え方である。
4. 特性要因図とは，結果の特性とそれに影響を及ぼしている要因との関係を，魚の骨のような図に体系的にまとめたものである。
5. 工程間検査とは，作業工程の途中段階で，ある工程から次の工程に移ってもよいかどうかを判定するために行うものである。

※ **問題番号**〔No. 43〕から〔No. 50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
なお，**6問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 43〕 用語の定義に関する記述として，「建築基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 建築物を移転することは，建築である。
2. 危険物の貯蔵場の用途に供する建築物は，特殊建築物である。
3. 建築物の構造上重要でない間仕切壁は，主要構造部である。
4. 主要構造部が耐火構造で，その外壁の開口部で延焼のおそれがある部分に防火戸その他の政令で定める防火設備を有するものは，耐火建築物である。

〔No. 44〕 居室の採光及び換気に関する記述として，「建築基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 換気設備を設けるべき調理室等に設ける給気口は，原則として，天井の高さの $\frac{1}{2}$ 以下の高さに設けなければならない。
2. 調理室でかまど，こんろその他火を使用する設備若しくは器具を設けたものには，原則として，換気設備を設けなければならない。
3. 小学校の教室には，原則として，床面積の $\frac{1}{5}$ 以上の面積の採光に有効な開口部を設けなければならない。
4. 住宅の居室には，地階を含め採光のための窓その他の開口部を設けなければならない。

〔No. 45〕 建設業の許可に関する記述として，「建設業法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 建設業を営もうとするすべての者は，建設業の許可を受けなければならない。
2. 建築工事業で一般建設業の許可を受けている者が，建築工事業で特定建設業の許可を受けた場合，一般建設業の許可は効力を失う。
3. 建設業の許可は，一の営業所で，建築工事業と内装仕上工事業の許可を受けることができる。
4. 下請負人として建設業を営もうとする者が，建設業の許可を受ける場合には，一般建設業の許可を受ければよい。

※ **問題番号**〔No. 43〕から〔No. 50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
なお，**6問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 46〕 建設工事における発注者との請負契約書に記載しなければならない事項として，「建設業法」上，**定められていないもの**はどれか。

1. 工事の完成又は出来形部分に対する下請代金の支払の時期及び方法並びに引渡しの時期
2. 価格等の変動若しくは変更に基づく請負代金の額又は工事内容の変更
3. 請負代金の全部又は一部の前金払の定めをするときは，その支払の時期及び方法
4. 工事を施工しない日又は時間帯の定めをするときは，その内容

〔No. 47〕 次の記述のうち，「労働基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 使用者は，使用者の責に帰すべき事由による休業の場合においては，休業期間中，当該労働者に所定の額以上の手当を支払わなければならない。
2. 使用者は，労働者の退職の場合において，権利者の請求があった場合においては，7日以内に賃金を支払い，労働者の権利に属する金品を返還しなければならない。
3. 使用者は，労働者が業務上負傷し，又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後14日間は，原則として解雇してはならない。
4. 使用者は，労働者が退職時に使用期間等の証明書を請求した場合においては，遅滞なくこれを交付しなければならない。

〔No. 48〕 建設業において，「労働安全衛生法」上，事業者が安全又は衛生のための教育を**行わなくてもよい者**はどれか。

1. 新たに選任した作業主任者
2. 作業内容を変更した労働者
3. 新たに建設現場の警備員として雇い入れた労働者
4. 新たに建設現場の事務職として雇い入れた労働者

※ **問題番号**〔No．43〕から〔No．50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
なお，**6問題を超えて解答した場合，減点となります**から注意してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．49〕 次の記述のうち，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 工作物の新築に伴って生じた不要な段ボールは，一般廃棄物である。
2. 建設工事の現場事務所から排出された新聞，雑誌等は，一般廃棄物である。
3. 工作物の除去に伴って生じた木くずは，産業廃棄物である。
4. 建築物の杭工事に伴って生じた汚泥は，産業廃棄物である。

〔No．50〕 消防の用に供する設備の種類として，「消防法施行令」上，消火設備に**該当しないもの**はどれか。

1. 消火器
2. 連結散水設備
3. スプリンクラー設備
4. 屋内消火栓設備